



NPO PTPL “ともいき” 便り No.78

平成 27 年（2015 年）6 月 22 日発行

■夏至（げし） 6 月 22 日から 7 月 6 日までの節気

遊歩道にタチアオイの花が咲いています。一番上の花が開くと、梅雨が明けると言われていますが、関東の梅雨明けは 7 月の下旬になりそうです。花を梅雨期の物差しにするなんて、なかなかすてきですね。

さて、節気は「夏至」に入りました。夏至の 22 日は一年で一番昼が長く、夜が短い日とされています。逆に冬至は一年で一番昼が短く夜が長い日。これから夏になるのに、昼の時間は少しずつ短くなっていきます。それにしても、「夏、至る!」。日本の暑い夏が始まります。

6 月 30 日は「夏越の祓え」です。神社に大きな茅の輪が設置され、そこを 8 の字に三回回ると、半年間の穢れや罪が祓われるのだそうです。12 月 31 日には「年越しの祓え」が行われ、さらに半年間の穢れを落とします。地域によって、人の形をした紙の人形（ひとがた）をからだにこすりつけて三度息をふきかけて穢れをうつし、神社に奉納したり、自分自身が海に入って浄めるなど、さまざまなやり方があるそうです。私は今年、浅草神社で夏越の祓えをしようと思います。茅の輪をくぐり、人形で穢れを落としますが、嬉しいことに浅草神社には、紙の犬形、猫形も用意されているので、うちの老犬の穢れも祓っていただくつもりです。ただし、犬も 3 回息をふきかけなければいけないのでしょうか。そこが、問題です。

この時期、町を歩いていると「緑のカーテン」が目につきます。毎年、紅茶屋さんの窓いっぱい広がる緑のカーテンは、外から見ても、中から見てもとっても涼しげです。店主さんは、「今年は 30 本ゴーヤを収穫しましたよ。」などといつも嬉しそうに話してくれます。隣家の高齢のご夫妻の庭にも、毎年ゴーヤのカーテンができあがります。すてきなのは、朝顔も混ざっているところ

です。緑色の葉のなかに、ピンクや青、紫の朝顔が咲いている景色は、特別涼やかです。暑い日でも、目から涼しさを感じると体感温度が少し下がるような気がします。朝顔といえ、7月6日から3日間、東京入谷の朝顔市が開かれます。言問通りに朝顔と屋台がずらりと並びます。夕暮れ時、浴衣姿で朝顔を買いに行くのもいいものです。

7月1日は富士山の山開きです。ともいき暦の7月1日をクリックしていただきますと、「御師の田邊四郎さん」の映像を見ることができます。

<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2015/>

江戸時代に盛んになった富士講、富士信仰について語ってくださっています。ぜひ、ご覧ください。2年前の6月、富士山が世界文化遺産に登録されました。外国人の登山者も増えたそうです。富士山の環境をどう守っていくか、大きな宿題が私たちにつきつけられているように思います。

最後に、京都で6月30日に邪気を祓うために食べる和菓子「水無月」をご紹介します。ういろう部分を氷の一片に見立てて三角に切り、その上に邪気をはらうと信じられている赤い小豆をのせた和菓子です。私の町の和菓子屋さんにも並んでいます。高温多湿の日本の夏。「水無月」を食べたり、打ち水をしたり、風鈴をつるしたり、よしずやうちわ、蚊取り線香、浴衣に花火。かき氷、すいか。日本の夏景色は、暑い夏を乗り切る先人たちの知恵でもあります。快適な暮らしができる現在、小さな子どもたちに、五感とともに伝えていきたいものです。

みなさま、くれぐれも、ご自愛くださいますように。

すとうあさえ (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事)

■ ともいき・ともうみ・ともさち雑感彼是

われわれはどこを向いて、何を目指したらよいのでしょうか？

● 「自分さえよければ」

先達が育み、培ってきた日本人の生きる知恵・生活の知恵・思想が失われてきているように感じられます。

自分の利益を守るためには手段を選ばない、「自分さえよければ」という極端な利己主義が蔓延しているように感じられてなりません。「さもしい根性」の人が多くなってきているのでしょうか。ギスギスした世の中になっています。日本人ということから、かけ離れた日本人が多くなっています。日本人を取り戻すには、先達の生きる知恵・生活の知恵・思想を学び、日本を見つめ直すことが大切であり、われわれの進むべき道も見えてくるに違いありません。

●平成 27 年は戦後 70 年、グローバル時代、世界も日本も大きく揺れ動いています。われわれはどこを向いて、何を目指したらよいのでしょうか。

●平成 27 年は NPO PTPL にとって、また、日本にとっての「ジャパネスク運動」元年です。

●NPOPTPL の目指すところは、「人と人、人と自然の豊かなコミュニケーションの社会づくり」、「人への、自然への思いやり、いたわり、やさしさの溢れた社会づくり」です。その基盤となるのが日本の本質、日本のアイデンティティ、日本的なるもの「ジャパネスク」です。

●共に生きる「ともいき」という自然観・生命観、共に生み出す「ともうみ」という創造力・生産力、そして共に幸に生る（共に幸に生きる）「ともさち」という倫理観・価値観。これが目に見えない「ジャパネスク」であり、日本人の精神的基盤です。

そして、目に見えない「ジャパネスク」、「ともいき」「ともうみ」「ともさち」でつくりあげた形のあるモノ・コト・ワザ・文化が目に見える「ジャパネスク」です。この二つを総称して「ジャパネスク」と NPO PTPL では呼ぶことに決めました。

●過去、現在の「ジャパネスク」を継承し、その「ジャパネスク」を先ずは日本人に、日本在住の外国人に広く、深く啓蒙・訴求し、次にさらに一步進んだ斬新で独創的な「ジャパネスク」を創造し、日本人に、そして世界へ啓蒙・訴求していくのが「ジャパネスク運動」です。焦らず、じっくりと実行していきましょう。きっと 3 年、5 年、10 年にかかるのではないのでしょうか。

●「ジャパネスク」は明日を創るために、世界中が探し求めている普遍的なものになる可能性が大であり、地球上の諸民族の心と生活をつなぐ、いわば文化交流のための共通言語になることでしょう。

●とても難しい困難な啓蒙活動ですが、「いま」がその活動の出発点であると考え、立ち向かってゆく覚悟です。賛同していただけるすべての人々が結び合い、

助け合い、支えあって、この運動を推進していこうではありませんか。

●NPO PTPL が企画・制作・運営している 8 つのサイト。そして新しい「ジャパネスク」のサイトに親しんでいただけたら幸甚です。

なお、「おらが富士計画 ふるさと富士山探し」「ともいきぐらし」「不思議・驚き・魅力のジャパネスク」のフェイスブックにもコメントをどうぞ。お待ちしております。

※事務所近くの「金比羅様」に入梅前、今年の梅雨が災害を起こさず、田畑を潤し、草木を育て、夏場に必要の水を蓄え、すべての生物にエネルギーを与える恵みの雨期であってほしいと祈りましたが・・・。



勝田 祥三 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事長)

■事務局だより

●7月1日は「富士山の山開き」ということは本文でお伝えしていますが、NPO PTPL では“ふるさと富士山”をキーワードに、“ふるさと”に限りない愛と、溢れる光を。この活動を「おらが富士」プロジェクトと呼び、7月1日から7月31日の1ヶ月間を「おらが富士」月間とします。

この活動の啓蒙、啓発活動を NPO PTPL は積極的に力強く推進していきます。みなさんのご協力、期待しております。詳しくは「ともいき暦」の富士山マークをクリックしてご覧ください。

あわせて「おらが富士」サイト、「おらが富士」フェイスブックもご覧ください。

「おらが富士」フェイスブックでは、東京ならびに近郊の「富士塚」取材したものをアップしています。皆さんのお住まいの近くの富士塚を巡ってみてはいかがでしょうか。

→おらが富士サイト：<http://www.plantatree.gr.jp/oragafuji/>

→おらは富士フェイスブック：<https://www.facebook.com/oragafuji?ref=hl>

●雨とアジサイ

梅雨に入り、毎日ジメジメとうっとうしいですが、事務所の近くの街路樹の下に咲くアジサイは雨のおかげでいつもより一段と鮮やかな青色で彩られ、私たちならびに通行人を楽しませてくれます。

●会員募集のご案内

NPO活動を推進していくためには、多くの皆さま方のご支援・ご協力が不可欠です。

NPO PTPLでは、常時、個人会員と法人会員を募集しています。この便りをお読みの方で、ご本人またはお知り合いの方々にご案内いただければ幸いです。詳しくは下記まで、メールまたはお電話・FAXにてお尋ねください。

NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局 担当：佐藤

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-2-18 虎ノ門興業ビル7階

電話：03-6205-7503 FAX：03-6205-7504

Email：info@plantatree.gr.jp